雨の忘れ物

はく

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雨の忘れ物

【コード】

N1165L

【作者名】

はく

【あらすじ】

ショートショートです。毎日がハッピーエンド。読む人の心を癒します。

忙しい日々。

仕事に追われる日々。

「はあ〜」

出るのは溜息だけ。

そう言えば、溜息一つで幸せが一つ逃げて行くんだっとな。

誰に聞いたのかを忘れたが、そんな余裕は今の俺にはない。

「はあ〜」

・・・しまった。

またも出るのは溜息だけ。

これで今日は2つの幸せが逃げて行くのか。

そう思うと悲しくなって来た。

壁に掛かられた時計を見してみる。

そうか。

今日はもう終わっていた。

時計の針は午前0時25分を指していたからだ。

会社を設立して2年が経過している。

今が踏ん張り所。

社長である俺が頑張らなければ。

しかし、俺は大きなミス。

いや、大切なことを忘れていた。

マコトの誕生日。

過ぎてしまったな。

渡せなかったプレゼント。

お祝いの電話もメールも出来なかった。

このままでは俺達の関係は終わってしまう。

彼女と知り合ったのは1年前。

会社に中途入社で入った、マコト。

面接の時だった。

「まだ会社が若いので、そんなに給料は出せませんが働いてもらえ

ますか？」

「はい、私で良ければお願いします」

大手商社で働いていた彼女が、何故、行き先も危うい俺の会社を選んだのか。

それは聞けなかった。

しかし、お陰で会社の経営は軌道に乗った。

ここまで来れたのは彼女の功績が大きい。

そうだ。

今からでも間に合う。

電話をしよう。

俺は内ポケットにある携帯電話を取り出した。

ここで俺はまた自分のミス気づく。

携帯電話はマナーモードになっていたからだ。

着信が1件。

そして、同じくメールも1件が入っていた。

相手は・・・マコトだ。

留守番電話のメッセージを再生する。

「お疲れ様です。仕事のし過ぎで体調を心配しています」

聞き慣れたマコトの優しい声。

『会いたい・・・』

メールにはそれだけが。

俺だって会いたい。

しかし、今は会社が・・・仕事が俺を自由にさせてくれない。

いつの間にか手にした携帯電話で、俺は電話を掛けていた。

「はい、マコトです」

「マコトか。俺だよ。ごめん、こんな時間に」

「いいえ、お疲れ様です」

「本当にごめん。怒ってる？」

誕生日をすっぱかしたのだから、怒って当たり前だ。

その時である。

俺の肩が誰かに軽く叩かれる。

振り向いた俺の胸にマコトが飛び込んで来た。

「会いたかった」

「俺もだよ」

俺はデスクに大切にしまっていた、マコトへのプレゼントを取り出し渡した。

「ありがとう。開けていい？」

「勿論、遅くなったけど、誕生日おめでとう」

「うん、嬉しい」

「それ……だけど、受け取ってくれるかい？」

「2年待ちました」

俺はマコトの言っている意味がわからなかった。

マコトとの出会いは1年前。

思い出した。

そうだったのか。

俺とマコトの出会いは2年前。

会社のあるビルの前で、雨宿りをしていた彼女。

その彼女に傘を貸したのが俺だった。

「婚約指輪だけど……」

「喜んでお受けします」

マコトが思いを込めて、強く抱きついて来る。

俺もそれに応えた。

時が止まればいいと願いながら。

「これからもよろしくな」

「ずっと一緒だよ」

「勿論だ」

「うん、嬉しい」

大切にしよう。

これからの俺達の人生を。

雨の忘れ物

(後書き)

ファンタジー小説『時空の羽』もよろしくね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1165/>

雨の忘れ物

2010年10月28日07時22分発行